



帯状疱疹のケア



症状の多くは上半身に現れますが、顔面や目の周りにも現れることがあります。皮膚症状が治まった後も帯状疱疹後神経痛に移行し、痛みが続くことがあります。

帯状疱疹は、多くの人が子どもの時に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏していて、疲労やストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して帯状疱疹を発症します。また、糖尿病やがんなどの免疫力が低下する病気が原因になることもあります。特に50代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹を発症するといわれています。

- 食事のバランスに気をつける
- 睡眠をきちんととる

日頃から体調管理を心がけることが大切!

	水痘ワクチン(生ワクチン)	シングリックス(不活化ワクチン)
特徴	従来からあり、赤ちゃんにも使用するワクチンです。副作用が少ないため、当院ではこちらを推奨しています。	2020年1月に販売された新薬です。免疫抑制剤などを飲んでいらっしゃる方にお勧めです。
効果	発症予防 50%	発症予防 50歳以上97% 70歳以上90%
帯状疱疹後神経痛	30% 軽減	88% 軽減
接種回数	1回	2ヶ月間隔で2回
価格	8,000円	20,500円×2回=41,000円
主な副作用	50%:注射部位の発赤、かゆみ、腫れ、痛み 4%:発疹、だるさ	82%:注射部位の痛み、腫れ 66%:だるさ、悪心、嘔吐、下痢、頭痛、筋肉痛、発熱、めまい
効果持続期間	約5年	10年以上

50歳以上の方は、ワクチン接種で予防することができます。帯状疱疹ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあります。当院で取り扱っている2種類のワクチンの効果、回数、価格、副作用は左記のとおりです。接種を希望される方は医師とよくご相談ください。



参考: 国立感染症研究所

